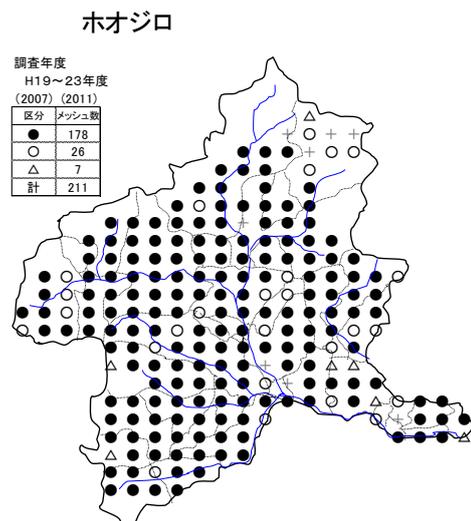
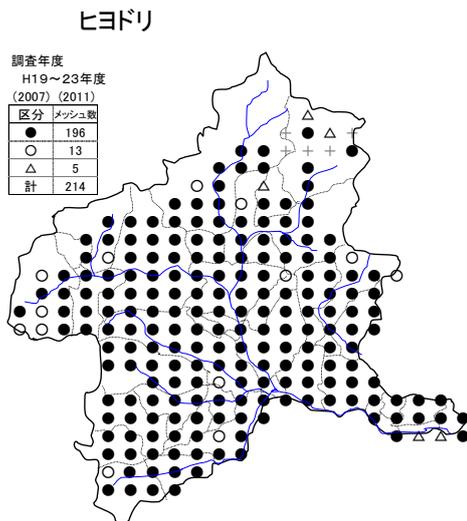


県内で分布の多い野鳥

日本野鳥の会群馬

日本野鳥の会群馬では、群馬県より受託して5年で県内全体を一巡する市町村別鳥類生息密度調査を行っています。平成19年度から平成23年度の5年間に行った調査では219メッシュ（国土地理院の25000分の1地形図を4分割した1区画を1メッシュという）で166種の鳥類を記録できました。メッシュ数の多く記録できた上位10種は以下のとおりです。ヒヨドリ 214メッシュ（97.7%）、ホオジロ 211メッシュ（96.3%）、キジバト 206メッシュ（94.1%）、シジュウカラ 206メッシュ（94.1%）、ウグイス 206メッシュ（94.1%）、ハシボトガラス 203メッシュ（92.7%）、コゲラ 177メッシュ（80.8%）、ハクセキレイ 174メッシュ（79.5%）、カワラヒワ 172メッシュ（78.5%）、カケス 170メッシュ（77.6%）でした。また身近に思われるスズメは個体数が最も多いものの147メッシュ（67.1%）で記録されました。カッコ内の数字は調査メッシュ数に対する確認メッシュ数の比率です。5年前の結果と比べてみると順位の入替えはあるものの、ほとんどの鳥種が同じです。ただしハシボトガラスとキセキレイが抜けて、そのかわりコゲラとハクセキレイが入ってきました。このように野鳥の分布は少しずつ変化しているのです。

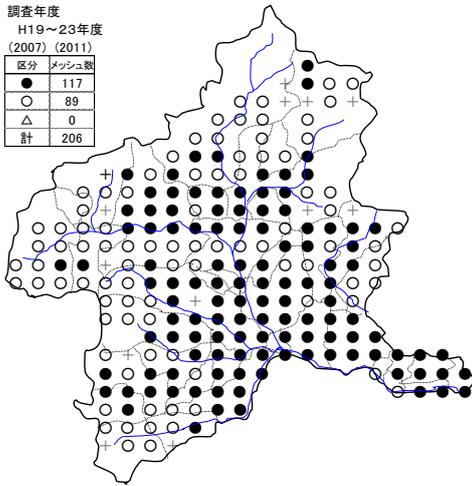
今回はこの中から上位3種とスズメの分布図を紹介します。



キジバト

調査年度
H19～23年度
(2007) (2011)

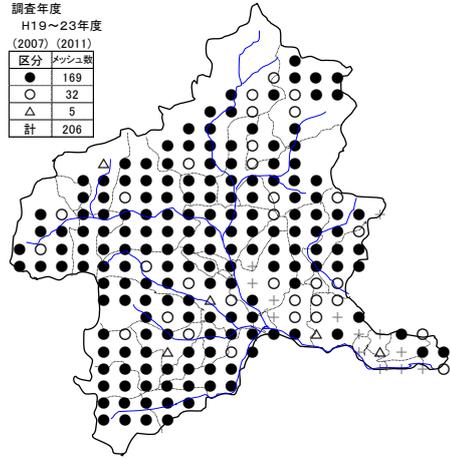
区分	メッシュ数
●	117
○	89
△	0
計	206



シジュウカラ

調査年度
H19～23年度
(2007) (2011)

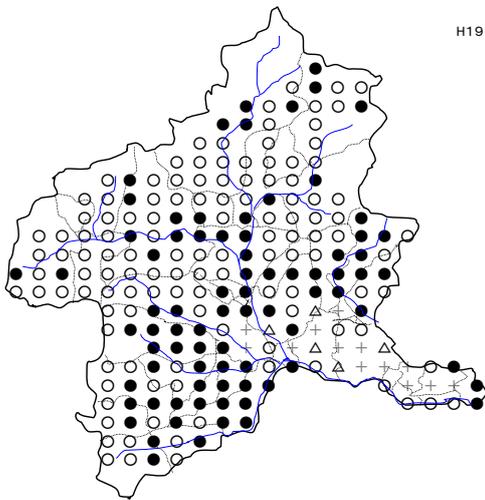
区分	メッシュ数
●	169
○	32
△	5
計	206



ウグイス

調査年度
H19～23年度
(2007) (2011)

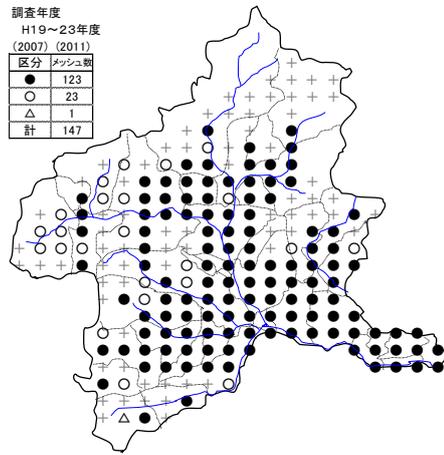
区分	メッシュ数
●	80
○	121
△	5
計	206



スズメ

調査年度
H19～23年度
(2007) (2011)

区分	メッシュ数
●	123
○	23
△	1
計	147



凡例

- 繁殖期＋非繁殖期に確認
- 繁殖期のみ確認
- △ 非繁殖期のみ確認
- ＋ 確認なし
- 空欄 未調査